

ニーズが高まる放射線治療業務のチーム医療を支援するRIS（治療）

特長・メリット

治療情報の共有により、チーム医療を強力支援

- 患者の治療情報を集約した治療歴画面により、見たい時に見たい情報へすばやくアクセス可能です。
- カンファレンス対象患者の抽出と記録の一元管理を可能とし、治療計画へのフィードバックを支援します。

照射時の患者認証やダブルチェック等により、「安心・安全」を実現

- 照射時の患者認証により患者取り違え防止を支援します。
- 照射室内スレーブモニタによるセットアップ作業の効率化と、患者最終確認により患者取り違え防止を支援します。

職種視点からの機能強化により、更なる業務効率化に貢献

- 医師ToDo管理により医師の作業漏れ防止を支援します。
- 治療適応患者に対する初回入力ナビゲーションにより入力クリック数を大幅に軽減します。
- 照射実施中に、次患者のセットアップ情報を事前確認が可能です。
- IGRT（画像誘導放射線治療）のカウチシフト量管理が可能です。
- 技師ToDo管理により技師の作業漏れを防止を支援します。
- QA・QC機能による装置点検の予実管理により散在されていた装置点検記録を一元管理、点検記録内容の統一化が可能です。

電子カルテとの親和性により、業務効率化と院内情報共有を支援

- 電子カルテ呼出機能により診察やカンファレンス等のカルテを参照したい場面で、ワンクリックで呼出可能です。

蓄積データを活用し、データ分析や学会集計等の集計業務を支援

- データ検索機能により、検索条件の組み合わせで必要なデータを任意に抽出可能です。
- CSV出力機能により、JASTRO集計を始めとした学会集計を可能とし、集計業務を強力に支援します。

機能一覧

治療RIS

- 患者情報管理
- 治療情報管理（原発部位、治療方針、プラン）
- 予約情報管理
- 実施情報管理
- 治療報告書管理
- 画像データ管理
- 線量データ管理
- 医師ToDo
- 技師ToDo
- 看護情報管理
- QC/QA管理
- カンファレンス支援
- データ検索
- 帳票・CSV出力
- 治療装置連携
- モダリティ連携
- Web配信（治療報告書、照射録）
- 電子カルテ連携

RTビューア（オプション）

- DICOM-RTデータ管理
- 線量分布表示
- DVH表示
- 線量分布情報メディア出力（ビューア含む）

動作環境

| | | |
|-----------|--------------|-------------------------------|
| 治療RISサーバ | ハードウェア | PRIMERGYシリーズ |
| | オペレーティングシステム | Windows Server 2025 Standard |
| RTPACSサーバ | ハードウェア | PRIMERGYシリーズ |
| | オペレーティングシステム | Red Hat Enterprise Linux 8.10 |
| クライアント | ハードウェア | ESPRIMO、LIFEBOOKシリーズ |
| | オペレーティングシステム | Windows 11 Pro |

富士通Japan株式会社

富士通Japanお客様総合センター（総合窓口）

0120-835-554

受付時間 9時～12時、13時～17時30分（土曜日・日曜日・祝日・当社指定の休業日を除く）
